

### 資料防災に関する国立国会図書館の主な取組

#### [保存フォーラム]

- ・第 11 回（平成 10 年度）：「もしもの時に何で消す？ ―図書館・文書館における消火設備―」
- ・第 13 回（平成 11 年度）：「防災計画を作る ―具体化のためのノウハウとは―」
- ・第 15 回（平成 13 年度）：「災害に備える ―図書館資料の防災と救済計画―」
- ・第 16 回（平成 15 年度）：「災害と情報ネットワーク ―日本における資料被災情報ネットワーク形成に向けて―」
- ・第 17 回（平成 16 年度）：「資料の災害対策 ―予防と緊急対応― 『文化財ウィール』をどう受け止めるか」

#### [公開セミナー]

- ・平成 17 年度「スマトラ沖地震・津波の被災による文書遺産の被災と復興支援」を開催

#### [翻訳・刊行・ホームページ掲載]

- ・平成 10 年度 「図書館における防災計画 ―資料救済を視野に入れて―」（『図書館研究シリーズ』No.35 に収録）を翻訳・刊行
- ・平成 18 年度 「スマトラ沖地震・津波の被災による文書遺産の被災と復興支援」の記録集（『図書館研究シリーズ』No.39 に収録）を刊行
- ・平成 19 年度 「小規模水災害マニュアル」を国立国会図書館ホームページに掲載  
([http://www.ndl.go.jp/jp/aboutus/pdf/flood\\_manual.pdf](http://www.ndl.go.jp/jp/aboutus/pdf/flood_manual.pdf))
- ・平成 19 年度 『ブルーシールド 危険に瀕する文化遺産の保護のために』を翻訳・刊行
- ・平成 22 年度 『ブルーシールド 危険に瀕する文化遺産の保護のために』を国立国会図書館ホームページに掲載 (<http://www.ndl.go.jp/jp/aboutus/iflapac/pdf/blueshield.pdf>)
- ・平成 22 年度 『IFLA 災害への準備と計画：簡略マニュアル』（『IFLA Disaster Preparedness And Planning a Brief Manual』の翻訳）を国立国会図書館ホームページに掲載  
(<http://www.ndl.go.jp/jp/aboutus/iflapac/pdf/briefmanual.pdf>)

#### [資料防災指針の策定]

- ・平成 21 年度、「資料防災指針」を策定。国立国会図書館の三施設（東京本館、関西館、国際子ども図書館）の消防計画と合わせて、資料を災害から守る考え方を示したもので、人命尊重、予防管理の重視、資料の優先順位付け、被災記録の維持・活用、被災資料の対処について専門性と迅速性の重視、当館三施設の協力、国内外の関係機関・専門家との協力を原則とする。この指針に基づき各種マニュアル等を作成し、その総体を資料防災計画とする。  
(<http://www.ndl.go.jp/jp/aboutus/iflapac/pdf/bousaishishin.pdf>)

#### [その他]

- ・平成 17 年度、「小規模水災害マニュアル」を作成、当館内に配布
- ・平成 18・19 年度、「小規模水災害マニュアル」に基づく訓練とマニュアルの検証を実施
- ・平成 17 年度、「被災連絡票」による館内連絡体制を確立